

令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：21005

学校名：山鼻小学校

	令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 <男子>	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 20mシャトルラン、50m走、握力 上体起こし、ソフトボール投げ	○前回の記録より下回った種目 長座体前屈、反復横跳び、立ち幅跳び	シャトルラン、50m走の記録のみ、R6をR7が上回っていた。それ以外は同程度、もしくは下回る結果となった。子どもたちに一番身近な「走」の動きの記録は伸びたが、機会を設けないと経験しづらい動きは伸び悩んでいる。
体力・運動能力 <女子>	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 50m走、ソフトボール投げ、握力 上体起こし、	○前回の記録より下回った種目 長座体前屈、20mシャトルラン、立ち幅跳び 反復横跳び	R7がR6を上回ったのは50m走のみであった。それ以外は同程度か下回る結果となった。上記と同じことが考えられるのではないだろうか。
運動・スポーツへの意識、 運動習慣	運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きかの質問に「好き」と回答した割合。 全国男子 72.7% 本校男子 80.0%	運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きかの質問に「好き」と回答した割合。 全国女子 54.1% 本校女子 38.5%	全国の回答結果と比べて考えてみると、「運動が好きな男子」と「運動があまり好きではない女子」が混在している学校と言えるのではないか。性別の垣根なくみんなが運動を楽しめる環境やシステムを整える必要があるのではないか。

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組
--------------	------------------------	------------------------------	----------------------------

具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニングタイムの充実 体育の授業の最初には、全校で Yamahana Boot Camp に取り組んでいる。体育館スクリーンに動画を投影し、フィットネスの要素を取り入れた運動と縄跳びで、児童の準備運動を、筋力や持久力を上げる、より意味のあるものにしようと考えている。 ・本物に教わる スキーや水泳はインストラクターを招いて、教えていただく。正しい技術や知識と本物への憧れで、子供たちの意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「跳び箱ウィーク」の実施 昨年度同様、跳び箱ウィークの期間中の休み時間、割り当てられた学年の子どもたちは体育館で跳び箱運動に取り組むことができるようにする。跳び箱2台につき教員を1人配置し、安全性の確保に努める。 ・運動を促す空間の創造 「あの掲示をねらってボールを投げてみよう」「あそこに届くようにジャンプしよう」と、子どもたちが体を動かすちょっとしたきっかけになるような工夫を体育館に施す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会による企画 5、6年生の委員会が中心となり、子どもたちが楽しく体を動かす機会を創り上げている。異学年交流にもなっている。 ・健康教育の推奨 栄養教諭、養護教諭、ゲストティーチャーなどによる「食と体の関係」「心と体」「薬物乱用防止」などについての授業を実施している。授業を受けるだけではなく、学んだことを通して「これから自分はどうしていきたいか」を考えさせることに重きを置いている。
---------------	---	---	---

家庭・地域との連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ・歯の健康に関する特別活動の学習において、学校医をゲストティーチャーに招き、子どもの実態を踏まえた指導の充実を図る。 ・出前授業に申し込み、本物から学ぶことのできる機会を設ける。
---------------------	--

